

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	健康課長 栗田 和也	
		主管課(関係課)【2】	健康課	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
笑2-1 健康づくりの推進		いつまでも健康で元気に暮らすために	笑顔で暮らすまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	平均寿命(完全生命表 平成27年男性 80.75年 女性 86.99年)の著しい伸びがみられる一方、高齢化の進展、糖尿病やがん、心臓病や脳卒中等に代表される生活習慣病の増加が大きな問題となっています。疾病の早期発見・治療に留まることなく、生活習慣を改善しての健康増進や予防対策を推進する必要があります。特に生活習慣病は、運動習慣や食生活の改善といった健康的な生活習慣の確立が重要とされています。これら、健康づくりに取り組む「場」づくりや機会を提供するとともに、健康情報の発信を強化し、正しい知識を得ることができるよう取り組むことが行政に求められています。		◆市民の自主的な健康づくりの支援 ◆生活習慣病などへの対応を含めた健康診査、健康相談・教育の充実 ◆地域医療体制の整備・充実	誰もが健康に生活できるよう、乳幼児期から高齢期まで、それぞれのライフステージに応じた「健康づくり」と、それを支援(応援)できる「地域づくり」に努めます。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇「健康」応援都市の実現を目指す上では、健康づくりの推進は重要な課題の一つです。市のアンケートによれば、20歳以上の西東京市民の66.1%は「自分は健康である」と認識しています。 ◇わが国のがん死亡数の平成28年推計値は約37万4,000人、がん罹患数の推計値は約101万200例で、高齢化の進展とともに増加傾向です。市内年間死亡者数の約3割が、がんによる死亡で、死因別第1位です(平成28年519人)。 ◇2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けては、I O C が唱える「スモークフリー(たばこの煙のない、たばこの煙から開放された環境)」への取組にも努めていく必要があります。				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	市民の主体的な健康づくりを支援します	市民の自主的な健康づくりの支援	
	2	地域医療体制の整備・充実を図ります	地域医療体制の整備・充実	
	3	健康都市を推進します	生活習慣病などへの対応を含めた健康診査、健康相談・教育の充実	

【施策の成果】

			年度	24	25	26	27	28	29	
成果指標【12】	指標1	名称	「健康づくりの推進」に対する満足度	目標値	30%			単位	%	
		算出式・説明	市民が健康に暮らしていけるように、市が行っている「健康づくりの推進」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	25.1	25.1	25.1	24.6	24.6	28
		達成率		84%	84%	84%	82%	82%	93%	
	指標2	名称	「地域医療体制の整備」に対する満足度	目標値	26%			単位	%	
		算出式・説明	市民が生活する身近な地域で安心した医療サービスが受けられるように、市が行っている「地域医療体制の整備」の取組に対する市民の評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	23.5	23.5	23.5	22.7	22.7	25.9
		達成率		90%	90%	90%	87%	87%	100%	
	指標3	名称	がん検診の受診率(胃がん)	目標値	5%			単位	%	
		算出式・説明	がんで死亡する日本人は多く、市民が主体的に健康管理を行う上でがん検診の果たす役割は重要です。がんの早期発見を推進するため、がん検診の受診率(胃がん)を高めることを目標とします。平成28年度から胃がん検診は、毎年実施から隔年実施に変更となりました。	実績値	4.8	4.7	4.7	5.1		
		達成率		92%	90%	90%	98%	0%	0%	
	指標4	名称	がん検診の受診率(大腸がん)	目標値	33%			単位	%	
		算出式・説明	がんで死亡する日本人は多く、市民が主体的に健康管理を行う上でがん検診の果たす役割は重要です。がんの早期発見を推進するため、がん検診の受診率(大腸がん)を高めることを目標とします。	実績値	31.6	30.4	31.9	34		
		達成率		97%	93%	98%	104%	0%	0%	
達成率の平均値				91%	89%	91%	93%	42%	48%	

【市民意見】【13】

24年度		27年度		29年度	
満足度(%)	25.1%	満足度(%)	23.6%	満足度(%)	27%
満足度(平均ポイント)	-0.01	満足度(平均ポイント)	0.03	満足度(平均ポイント)	0.07
重要度(%)	77%	重要度(%)	77%	重要度(%)	75.8%
重要度(平均ポイント)	1.22	重要度(平均ポイント)	1.23	重要度(平均ポイント)	1.26

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	<input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均	<input type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている	<input type="checkbox"/> 以前と同程度	<input checked="" type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】	◇「健康」応援都市実現のため、本市では、平成30年度を始期とする第2次健康づくり推進プラン後期計画(健康都市プログラム)を平成29年度内に策定します。 ◇平成28年に実施した健康づくり推進プラン評価・分析のためのアンケートから得られた結果や健康診査データ等を活用した分析を行い、今後の健康づくりの指針を定めていきます。また、現行の食育推進プランについても前倒し、上記後期計画に盛り込み、健康と食育が一体となった施策展開を図ります。				
総合評価	施策内容の方向性【20】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み 施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化 施策実施方針【22】 II 成果の向上を図りつつ、コストは現状を維持する施策領域					
【一次評価後の事情変更等】						
説明【23】						
【行革本部評価】						
総合評価	施策内容の方向性【20】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み 施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化					
	判断理由等【24】	健康づくりの推進については、健康診査やがん検診の受診率向上に取り組むとともに、生活習慣病の予防・改善のための講座や、小学校でのがん教育を実施しています。また、総合戦略に基づき、健康チャレンジ事業や健康応援団の推進にも取り組むことができました。市民意識調査結果では、前回調査と比べ、満足度・重要度ともに大きな変化は見られませんが、施策成果の目標はほぼ達成しています。今後は「健康」応援都市の実現に向け、健康を視点とした地域づくりや母子保健施策のほか、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を視野にさらなる受動喫煙防止対策等を推進するため、第2次健康づくり推進プラン後期計画(健康都市プログラム)を策定するとともに、検診事業等に係る受益者負担の適正化の検証も行っていく必要があります。施策の重要性は強くなっており、実施コストを抑制しつつ、施策内容の拡充に努めるべきと判断しました。				
	施策実施方針【22】	III	成果の向上を図りつつ、コストを抑制する施策領域			

【施策内の事務事業貢献度判定】

笑2-1 健康づくりの推進

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	がん検診事業の推進	健康課	対策型のがん検診のほか、喉頭がん、前立腺がん検診を含む7つの検診を実施しています。 一次検診の受診率向上のほか、精密検査の受診率の向上も図るため、「がん検診特集号」の発行を通じて、わかりやすい検査情報の掲載等により、がん検診の精度管理に努めています。 乳がん・子宮頸がんの両検診については、平成29年度から「前年度未受診者」の方を対象とすることといたしました。
	健康教育相談事業の推進	健康課	幼稚園の保護者会参加者等を対象とした出前型健康講座を実施した。 従来の保健センターを会場とした講座スタイルをあらため、講座の対象とすべき年齢層を内容により絞込み、その対象者の集まる機会等を利用し講座を企画しました。
	こころの健康・自殺予防の推進	健康課	自殺予防等、課題である若年対策の一環として市内大学でのゲートキーパー研修を実施しました。 また、子供のこころの健康づくりを目的に「一人でなやんでいるあなたへ SOSを出していいんだよ！」と題した中学校1年生向けの小冊子を作成し、市内の公立・私立の全中学校の生徒に配布しました。
	食育の推進に向けた取組	健康課	平成30年度を計画の開始年度とする「第2次健康づくり推進プラン後期計画（健康都市プログラム）」に、次期食育推進計画を統合し、健康づくりと一体とした食育の推進に取り組みます。
	母子予防接種事業の実施	健康課	平成28年10月には、B型肝炎ワクチンが定期接種となりました。 また、おたふくかぜのワクチンの一部費用助成も行っています。
	成人予防接種事業の実施	健康課	平成26年10月には、高齢者肺炎球菌ワクチンが定期接種となった一方で、一定の条件を満たす方には、定期接種該当年齢の方以外にも任意接種として対応できる体制を整えています。
	健康情報普及サイト事業の実施	健康課	健康・子育て応援システムとして、予防接種スケジュール等を自動生成する専用サイト「ワクチンマネージャー」を導入しました。平成28年度中の登録件数は、1,167件でした。予防接種に関する情報のほか、子育てに関する情報や、医療機関情報の検索等の機能をもったシステムの運用を行っています。 平成27年度にはシステムの多言語化への対応、平成29年度からは、お子さんの成長記録等が入力できる等の一部リニューアルを図っています。
2	保健・福祉・医療連携体制の充実	健康課	病気の治療と介護などの複合的なニーズが増加しており、保健・福祉・医療の連携による在宅療養等のサポート体制の充実、多職種連携に仕組みづくりに取り組んでいます。

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業の評価(直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】
	事業費	人件費			
11,386	8,062	3,324	抜本的見直し(平成19年度)	中	定期的な健康診断を受けることにより、日常生活習慣の改善や、適度な運動等を行うきっかけとなる。
215,483	195,292	20,191	抜本的見直し(平成23年度)	上	検診を受診することで、早期発見・早期治療につながるほか、検診で見つかったがん以外の疾患を治療することで、がんになることを防ぐこともできる。
773	607	166	改善・見直し(平成26年度)	中	正しい運動の方法や適切な食事のとり方等を学び実践できるようになる。
1,317	237	1,080			自分や他者のこころの問題に気付くこと、困っていることを周囲の方に発することができるようになる。
8,309	0	8,309			食に関する知識と食を選択する力を養うことで、健全な食生活を実践し、生涯にわたり健康的な心身と豊かな人間性を自ら育むようになる。
424,278	417,465	6,813	改善・見直し(平成18年度)	上	多くの疾病の流行防止、感染症による患者の発生や死者の大幅な減少をもたらされる。
68,601	64,446	4,155	改善・見直し(平成18年度)	上	肺炎球菌感染症は、多くの高齢者の肺炎原因となっているため、高齢社会の到来にあっては、治療だけでなく、予防を行うことが求められます。
1,068	902	166			予防接種のスケジュール管理を行うことができるとともに、医療機関の検索や母子保健等の子育て情報を専用サイトを通じて情報を得ることができま
627	45	582			地域医療の体制が整備され、身近な地域で安心して医療が受けられるようになり、安心して相談や診察が受けられるようになる。

【施策内の事務事業貢献度判定】

笑2-1 健康づくりの推進

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
3	健康づくりの推進	健康課	「西東京市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略」においては、その戦略の機軸を「健康」応援都市の実現とし、まち全体で健康づくりに取り組むことができるよう、地域それぞれにおいて多様な環境整備に努めます。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業 の評価 (直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費			
7,405	758	6,647	改善・見直し (平成18年度)	中	主体的に健康づくりに取り組む市民の方々が増え、また、健康づくりを通じたコミュニティができる。
739,247	687,814	51,433			